

# 検体をご送付頂く際のお願い

平成 29 年 6 月 23 日 発行  
株式会社 新組織科学研究所  
〒198-0005 東京都青梅市黒沢 2-979-2

## ■ 容器について

マイクロチューブや遠沈管、試料用広口容器、ヒストパックをご利用ください。

☆ 破損や液漏れ防止のため、下記の容器をご遠慮ください。

【入口が狭く不透明な容器、空瓶、弁当箱、タッパ容器、チャック付きビニール袋】

☆ 組織に対して 10 倍量の固定液を入れられる大きさの容器へ固定液を満杯に入れてください。

☆ マイクロチューブや遠沈管、広口容器をご利用の場合は、必ずパラフィルムにより厳重に液漏れを防止してください。

## ■ 検体の固定について

(固定液)

☆ 10% ホルマリン、10% 中性緩衝ホルマリン

(HE 染色標本など一般染色に適した固定液です。)

☆ 4% PFA 固定 (4% パラホルムアルデヒド)

(免疫染色を目的とした固定液、HE 染色も可能です。)

その他の固定液処理でもご依頼を承っておりますが、標本作製方法に関わりますため、ご依頼時にご相談ください。

(固定方法)

☆ 大型組織について

固定不足や自己融解を防ぐため、必要に応じて断面を入れて固定してください。

☆ 腸管など筒状の臓器について

粘膜面は自己融解しやすいため速やかに固定してください。可能であれば、長軸方向に断面を入れていただくと効果的です。

☆ 固定液の注入や還流固定の必要な検体

肺など空気量の多い組織は、固定液の注入や灌流固定を行ってください。

☆ 皮膚や開いた腸管など平らを維持したい組織について

組織の丸まりを防ぐため、粘膜面を上にした平板にピン止めしてください。

(凍結組織の場合)

☆ 凍結組織 (OCT コンパウンド包埋+急速冷凍)

(脂質や酵素活性等の観察に適した方法です。)

☆ 凍結組織 (CMC コンパウンド包埋+急速冷凍)

(イメージング質量分析に適した方法です。)

# 検体をご送付頂く際のお願い

---

## ■ 検体リスト送付のお願い

検体から標本作製をスムーズに進めるため、検体リストの送付をお願いします。

検体リストの無い場合、検体ラベルの情報を書き写す作業を実施しておりますが、ラベル情報の確認などでお客様に連絡させて頂くことがあり、これを待つ間も検体の固定が進んでしまいます。

お客様より検体リストをいただくことが大切となりますのでご理解ご協力のほどお願いいたします。

(検体リスト作成時のお願い)

☆ ブロックおよび標本スライドに利用できるように、半角英数 20 文字以下、漢字を含む場合は 10 文字以下でお願いします。組織に対して 10 倍量の固定液を入れられる大きさの容器へ固定液を満杯に入れてください。

☆ 電子データで作成の際は、info@hslabo.co.jp へ送付いただくか、ご依頼フォームより添付していただけますと幸いです。

☆ 手書きの際は、下記のような間違い易い文字にご配慮ください。

( 英字の I・数字の 1・小文字の l : 英字の Z・数字の 2 : 英字の O・数字の 0 )

## ■ 梱包について

☆ 破損の恐れがあるもの(スライドガラス、パラフィンブロック等)はエアークッション等で包装し、万が一の液漏れに備えて二重もしくは三重で包装して下さい。

☆ 通常の固定組織は冷蔵、凍結組織はドライアイスとともに冷凍でお送りください。

## ■ 配送伝票の品名について

「検体」あるいは「固定組織」の記載でご送付ください。

## ■ ご発送日について

弊社は土曜日・日曜日・祝日・年末年始を休業日としております。

休業日前日のご発送はご依頼検体への輸送ダメージを避けるため、ご遠慮ください。

代理店経由での発送の場合は、代理店が回収後の当社への発送日を調整してください。

特に、固定検体については、過固定等で標本作製への影響が出る場合があります。

以上